

東アジア貿易研究会主催・朝鮮半島情勢セミナー

朝鮮半島の今後を考える

～韓国の対北朝鮮政策と日朝・日韓協力の可能性～

▼2019年の朝鮮半島情勢は、北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長による元旦恒例の「新年の辞」と、意表を突く訪中・習近平主席との会談(1/9-10)により幕が上がりました。停滞していた米朝交渉は再び動き出し、昨年6月の米朝首脳会談に続く2回目の会談の可能性が見えてきました。▼金正恩委員長は「核と経済の並進路線」から経済強国の建設に持てる資源の全てを集中する路線転換を標榜しています。韓国の文在寅大統領は南北交流の再開を通じ、北の経済建設を支援しようとしているようです。▼こうした重要な時期に日韓関係は厳しい状況に直面していますが、今後わが国が東アジア地域の平和と安定をいかに築いていくかを考える上で、「韓国の対北政策」を良く理解し、日本の目線から「日朝・日韓協力の可能性」を考えることが重要と思われまます。今回のセミナーには韓国から2人の講師をお招きし、韓国の対北政策を解説いただきます。皆さまのご来場をお待ちしております。

一般社団法人 東アジア貿易研究会

【セミナー開催概要】

日時： 2019年2月21日(木) 16:00~18:30 (受付開始 15:30)

会場： エッサム神田ホール1号館 2階

(http://www.essam.co.jp/hall/access/#access_1)

プログラム：

【講演1】 韓国統一研究院 上級研究委員 林 崗澤(リム・カンテク) 氏

「文在寅政権の『朝鮮半島新経済地図』構想と対北政策について」(日韓逐語通訳)

【講演2】 韓国交通研究院・ユーラシア北朝鮮センター所長 安 秉珉(アン・ビョンミン) 氏

「北朝鮮の交通インフラ ～現状と課題～」(日本語で講演)

【コメント&パネル討論】 「朝鮮半島の今後を考える」

モデレーター： 帝京大学准教授 李 燦雨(リ・チャンウ) 氏

コメント： 環日本海経済研究所(ERINA) 主任研究員 三村光弘 氏

参加料： 会員は1名様無料、その他の参加者には資料代(3千円)を会場にて申し受けます。

参加申込・お問い合わせ

東アジア貿易研究会(高宮・若林) 申込期限：2月18日(月)

TEL: 03-5835-5811 FAX: 03-5835-5822

メール: eastasia@beach.ocn.ne.jp

| | | | |
|----------|--|--------|--|
| 氏名 所属 | | TEL | |
| | | FAX | |
| | | E-mail | |